

2026 年度入試  
賢明学院中学校  
A I 日程

2026. 1. 17 実施

国 語  
(45 分)

- ・答えはすべて解答用紙に記入すること。
- ・字数制限があるすべての設問において、句読点は字数にふくめます。

|         |
|---------|
| 受 験 番 号 |
|         |

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

大量の本を買うために僕は相当な金額を使いました。まだ学生だったとき、そのお金はどうしたのか？親からの借金です。正確に言えば、受けていた仕送りを倍にもらったのです。

「僕は勉強するために大学院に入った。だから時間もお金も学ぶことのために使いたい」

という内容の手紙を親に書きました。学ぶ時間を捻出するためにアルバイトは辞めた。辞めたらお金が足りずに本が買えなくなった。就職したら必ず返すという条件付きで、金銭的な援助を親に求めたのです。

手紙は便箋ではなく、新聞のチラシの裏に書きました。お金に困っていることをアピールするためとはいえ、幼稚で姑息な手段でしたね。でも、書いた内容は本心だった。裕福な家ではなかったけれど、両親は認めてくれました。仕送りのお金も、就職してからちゃんと返済した。

僕がここで学生の読者に伝えたいのは、<sup>①</sup>アルバイトを辞めてよかったという実感です。

学生のアルバイトの時給は、いまなら八〇〇〜九〇〇円くらい。一〇〇〇円を超えれば高額バイトといえるでしょう。求人はたくさんありますから、見つけることは難しくない。

I、最初によく考えてみてください。何のために自分はアルバイトをしたいのか？「お金がほしい」という理由なら、何に使いたいのか？自分で学費を稼がなければならぬ学生もいますから、一概にアルバイトを否定はしません。しかし、「遊びに使う」「洋服が欲しい」といった理由でアルバイトをすることは、むしろ損なことをしていると思うのです。「学ぶ」という姿勢は、学生にも社会人にも必要なものですが、学生時代にしかできない学び方というものが、これが社会に出てから大きな力になっていきます。たとえば、インプットした知識や経験を、自分の思考の中で組み合わせたり加工することによって、新たな作品や成果としてアウトプットしていくプロセス。社会人の多くは、<sup>②</sup>それを「仕事」として取り組み、「報酬」を得ます。つまり、「報酬（＝金額）」に見合った結果を出さなければ評価が下がり、失敗を繰り返せば仕事そのものを失う可能性も出てくるということです。

③一方、学生はどうか？同じプロセスでも学生は「報酬（＝お金）」を稼ぐために取り組むわけじゃない。学費を払っているわけですから、自分が試してみたいやり方を最優先して作業に取り組むことも許される。ルール違反さえ犯していなければ、たとえ失敗しても、それで学校をクビになることはないし、II 上手く行かなかった経験はレベルアップしていく糧になります。そのプロセスを何度も繰り返すことが「学び」の姿勢を習慣化することになっていくのです。

学生時代に身につけた学びのクセが、社会に出てからどんなふうに関わるか。僕自身の経験を述べれば、設計事務所に入った直後は、資料調べが主な仕事でした。が、上司から命じられた以上のことをいつも調べていた。それは好奇心が自分の内側から湧いてくるからでした。

III 病院の設計であれば、膨大な資料を読んでいるうちに施設の運営や、セイドや法律のことにも興味の対象は広がった。注射器の使い回しをやめるように国が医療機関に指導したのは一九八八年でしたが、その後、大量の使用済み注射器の捨て場所が問題になっていると知り、産業廃棄物に関することまで調べまくっていました。そういう作業がまったく苦にならず、むしろ楽しくやれたのは学びのクセのおかげです。

さらに、自分で一度調べたことは、事務所の資料棚にすべて蓄積されていることになる。新しいプロジェクトを始めるときには、関連するデータや事例がどこにあるのか、すぐに上司に進言できるようになった。

自慢話をするわけじゃないけれど、設計事務所の社長が、「引退することになったとき、「山崎君、社長をやってみるか？」と言ってもらったことがあります。大勢の先輩社員を差し置いてそれはないと思ひ、さすがに辞退しましたが、冗談でもそう言ってもらえたことは自信になったし、独立してもやっていけそうだというIV も得ることができたものです。

アルバイトは社会勉強になるという人もいます。が、報酬が発生するのですから、失敗は許されないのが、<sup>④</sup>センティになります。雇う側も失敗させては困るから、細かいマニュアルをつくってアルバイトの働き方を規制するわけです。その現場からは、自分の意志で学びの姿勢を構築していくことは難しいものになります。

それに、社会勉強であれば、学びの中からいくらかでも経験できます。コミュニティデザインを勉強している学生であれば、いろいろな「チキ」に入って行うフィールドワークの機会がたくさんあります。他の分野でも実社会の現場で行われる研修はありますし、学生自身がフィールドワークを企画したっていい。お金のためではなく、<sup>⑤</sup>自分の未来のための社会勉強のほうで、間違いなく学びの姿勢を養ってくれると僕は感じています。

（山崎亮『ふるさとを元気にする仕事』より）

問一 線部 a d のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直して答えなさい。

問二 I III に当てはまるものを次から選び、記号で答えなさい。

ア たとえば イ あるいは ウ むしろ エ でも

問三 線部 ①「アルバイトを辞めてよかった」とありますが、筆者は、なぜアルバイトをやめて良かったと考えているのですか、最も適切なものを次から選び記号で答えなさい。

- ア 社会勉強は、アルバイトをしなくても、いくらかでも学びの中で経験することができると考えているから。
- イ 学生時代は、学生にしかできない学び方を身に着けるために時間を使うべきだと考えているから。
- ウ いつも好奇心が自分の内側から湧いてきてしまい、時間さえあれば調べものばかりしてしまうと考えているから。
- エ 遊びや洋服を手に入れることより、本をたくさん購入する方が自分のためになると考えているから。

問四 ――線部②「それ」が指す内容を本文中から六十五字で抜き出し、初めと終わりの五字を答えなさい。

問五 ――線部③「一方、学生はどうか？」とありますが、ここでの社会人と学生の立場の違いについて解答らんの形に当てはまるように二十字程度で説明しなさい。

社会人は報酬を得る以上結果が求められるのに対して、学生は

問六 Ⅳに入る適切な語を後から選び、記号で答えなさい。

ア 事なき イ 的 ウ 手応え エ 地の利

問七 ――線部④「自分の未来のための社会勉強のほうで、間違いなく学びの姿勢を養ってくれる」とありますが、筆者がアルバイトでの社会勉強があまり学びの姿勢を養ってくれないと考えるのはなぜか。二十字程度で説明しなさい。

問八 本文中の内容と合わないものを選び、記号で答えなさい。

- ア 筆者は、両親への仕送りを増やしてほしいという内容の手紙には、本心が伝わりやすいようにあえてチラシの裏を便箋代わりにした。  
 イ 学生時代にうまくいかなかった経験も含め試行錯誤を繰り返すことで、学びの姿勢を習慣化することができると筆者は考えている。  
 ウ 筆者が設計事務所にいたとき、上司から調べものを頼まれることがよくあったが、学生時代に身に着けた学びのクセが役に立った。  
 エ 社会勉強のためのアルバイトを通して、産業廃棄物問題などのさまざまな社会の出来事に興味を持つことができたと言っている。

【二】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

小学五年生の「ぼく」は、亡くなったおばあちゃんから「望みはこれに書いておくといいよ。きっとかなうから」と言って渡された「えにつき」を、ふとしたことをきっかけに思い出す。キャンプに行く前日にその「えにつき」に願いを書いたが、消しゴムを忘れて消せなくなっていた。次の場面は、「ぼく」がおじいちゃんと養老川のそばのキャンプ場に行った場面である。

「さて、なにかおやつでも食べるかな？」

おじいちゃんが、さっきぼくのリュックに押しこんだビニール袋を取り出した。

中にはチョコレートやキャラメル、スナック菓子などが入っていた。

まずい。去年と同じだ。いやな感じがした。

チョコレートもキャラメルも、ハコから出すと、中身はドロドロに溶けていた。八月なのだから、こういうものは冷蔵庫から出したらすぐに食べなければ。去年もお兄ちゃんといっしょに、そんなことをおじいちゃんに言った。

「おやおや。だめだね、これは。来年は別のおやつにしよう」

前とぴたり同じことをおじいちゃんは言った。ちよつときびしそうな顔だった。

「食べられないよ」

①チョコレートの銀紙がうまく破れなかったので、ぼくは紙ごと口に入れた。

パリパリ音がして歯にくっついたけれど、チョコレートの甘い味も、少しした。

キャンプ場には石の河原が広がっていた。そこでボール投げをしたり、スイカ割りをしたりして遊んでいる人がたくさんいた。家族でバーベキューを楽しんでいる人たちも。まるで海に来たようだ。

流れがゆるやかなところでは、子どもたちが水遊びをしていた。

それを見て、ぼくは②きのう考えたことをやってみようと思った。

「ぼくは泳げるようになった!!!」という文章が消せなくなって、きのうの夜はすごくイライラした。ふとんに入っても眠れないくらいに。家に帰ってから消せばいい、とは思ったけれど、それまでこの日記を持っているのがいやだった。うそを書いたまま何日も持っているのが、いやだったのだ。

もう泳げるようになるしかない!

そう考えたら、「そうだそうだ」という声が聞こえた。聞こえた気がした。

「でも、どうやって?」

「養老溪谷の浅いところで泳いだらいい。あそこなら、失敗してもおぼれないから自分が二人に分かれて、頭の中でカイワした。」

「いいアイデアかも。もし泳げたら、ぼくはそのために千葉へ来たんだって言う」

「水泳教室から逃げたんじゃないくて、別の水泳教室のために、千葉へ来たんだって」

「そうか。Ⅰが合うってことか」

「そうだよ。チャレンジしてみよう！」

ちよっとインチキな感じもしなくなかったけれど、泳げるようになればそれでいいんだ。みんな解決する。④「えにつき」がやっぱり魔法の日記だったってことにも、なるのではないかな。

朝になっても、その考えは消えなかった。だからぼくは水着をはいてきた。

「チャレンジ！」と心の中で言っ、Tシャツとズボンをぬいだ。

「おや、こうちゃんは水遊びかな？」

「水泳の練習だよ」

Tシャツとズボンをリュックの中に入れた。

青いキャップをかぶり、ゴーグルをつける。

「この辺は浅いんじゃないかな？」

「だからいいんだよ。平泳ぎくらいできるよ」

そう言ったら、おじいちゃんは目をAさせてぼくを見た。

木の陰にいても、日差しが強くてまぶしい。ぼくはリュックをおじいちゃんにあずけて水の中に入った。

ワーオ！ 水が冷たい。でも気持ちいい。

学校のプールみたいに消毒薬のにおいがしないから、プレッシャーも感じない。

これは泳力テストではなくて、遊びなのだ。泳げなかったって笑う人はいない。そう思ったら、元気がBわいてきた。

水の高さは太もものところくらい。深くてもおへそまでだ。これならおぼれそうもない。ぼくは立ったまま、首をカメのように動かして息つぎの練習をした。顔の上にお兄ちゃんがぶら下げているスナック菓子があると思って。

それから、ゆっくり水の中にしゃがんで、首を何度もクイツ、クイツ。これがうまくできれば、泳げるようになるかも。ちよっと胸がCし

てきた。  
ぼくの横で小学一年くらいの男の子が、お父さんに両手を引かれてバタ足の練習をしていた。ちびっ子なのに、ちゃんと息つぎができる。

一回、二回、三回……。見ているうちにIIがわいてきた。

ぼくも水の中からだを横にした。腕でしっかり水をかき、カエル足でキック。

そして首をクイツ。

できた！

一回ちゃんと息を吸って、水の中に顔をもどす。もう一回、首をクイツ。

二回目は失敗、少し水を飲んだ。

でも一回うまくいったから、ファイトがわいてきた。すぐにやり直した。

Dと水の中にかだを入れた。腕で水をかき、カエル足でキック。そして首をクイツ。

できた。もう一度同じことをくり返す。二回目の息つぎにチャレンジだ。

できた！ 二回続けて！！

もうめちゃくちゃ、うれしくなった。

「おじいちゃん、できたよ！」

ぼくは大きな声でさけんだ。

おじいちゃんは木の下にすわり、ぼくのほうに手をふった。

「ちゃんと見とったよ。えらいぞ」

そう言って拍手してくれた。

できる感じを忘れないように、ぼくは何度も何度も練習した。

その日のうちに、五回、レンゾクして息つぎができるようになった。

これでやっと、おばあちゃんの日記に書いたことが実現した。

「ぼくは泳げるようになった！！」

その字を上からボールペンでなぞって、太くした。そしてとなりの行に、

「ぼくのあだ名は※「オヨゲルンジャーだ」と書いた。

※ー オヨゲルンジャー …… 小学三年生の夏に「ぼく」は水泳教室でおぼれて、「オボレンジャー」のあだ名がついていた。

問一 線部 a d のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直して答えなさい。

問二 線部①「チヨコレートの銀紙がうまく破れなかったので、ぼくは紙ごと口に入れた」とありますが、どのような気持ちから食べたのですか。「チヨコレートの銀紙がうまく破れなかった」理由を含めて、六十字以内で答えなさい。

問三 線部②「まるで海に来たようだ」に見られる表現技法を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 倒置法 とうちほう イ 擬人法 ぎじんほう ウ 隠喩 いんゆ エ 直喩 ちよくゆ

問四 線部③「きのう考えたこと」として適当でないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 河原で遊んだり、スイカ割りをしたり、家族でバーベキューをしようと考えたこと。

イ 失敗してもおぼれないので、養老溪谷の浅いところで泳いだらいいと考えたこと。

ウ 日記が魔法の日記だったことにするために、泳げるようになると考えたこと。

エ うそを書いたままの日記を持っていたのがいやで、泳げるようになると考えたこと。

問五 線部④「えにっき」がやっぱり魔法の日記だったってことにも、なるのではないかな」と「ぼく」が考えるのはなぜですか。解答らんに当てはまるように、本文から二十字でぬき出し、初めと終わりの三字をそれぞれ答えなさい。

問六 I に入る適切な語を次から選び、記号で答えなさい。

ア 馬 イ つじつま ウ そり エ 息

問七 A D に当てはまる適当な言葉を次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。(同じ記号を二度は使えないものとする。)

ア バシヤツ イ ピチャツ ウ ムクムク エ ドキドキ オ パチパチ

問八 II に入る適切な語を次から選び、記号で答えなさい。

ア 親切心 イ 好奇心 こうきし ウ 対抗心 たいこうしん エ 向上心

問九 「ぼく」は本文でどのような人物として描かれていますか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自分の夢や望みを持たず、他者の考えに流され、周囲の様子をうかがいながら生きている人物

イ 自分の夢や望みはあるものの、実現のきっかけを他者や自分以外の何かに求めている人物

ウ 自分の夢や望みの実現には自らの努力が必要だとわかっていながら、実行できずにいる人物

エ 自分の夢や望みを実現するためのきっかけをつかんで、実現に向けて自ら努力している人物

【三】次の各問いに答えなさい。

問一 線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直して答えなさい。

① エンゲキを見に行く。 ② 世界イサンに登録された。

④ 文化財をホゾンする。 ⑤ セイセキ表を受け取る。

⑦ 世界の資源を守る。 ⑧ 国語の教科書を朗読する。

⑩ 忠実な部下を持つ。 ⑪ 正しい姿勢で座る。

⑬ 米の値段を見て驚いた。 ⑭ 工事で道を拡張する。

③ シャソウから外を見る。  
⑥ 至難のわざだ。  
⑨ ウミガメの産卵。  
⑫ 公衆電話を発見した。  
⑮ 深刻な問題に立ち向かう。

問二 ①～⑤の慣用句の意味を後からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

① 水に流す ② 顔が売れる ③ ヘそを曲げる ④ 頭を冷やす ⑤ 花を持たせる

ア 有名になること イ 人に名誉を譲る めいよ ウ 不機嫌になり意地を張る ふきげん

エ 興奮した気持ちをおさえる こうふん オ 過去のことをすべてなかったことにする

問三 線部の文中での働きを後からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

① 大きなバスが駅前に停まる。

② 彼女はふるえる声で答えた。

③ 環境問題について真剣に考える。

④ 宿題を急いで提出する。

⑤ 私もいっしょに食べる。

ア 主語 イ 述語 ウ 修飾語 しゅうしょくご